

教育実践例 教材に関する学生の反応と指導—英米文学史—

佐々木 隆

プロローグ

大学教員の担当科目はその研究の専門性から長期にわたることが多い。授業科目「英米文学史」もその一つである。筆者の科目担当歴（類似科目を含める）は以下の通りである。

「英文学概論」（武蔵野短期大学国際教養学科、1993 年度～2003 年度）

「英米文学史」（武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科、2004 年度～現在に至る）

「英語圏文化研究 a」（駒澤大学学部共通科目、2015 年度）

最初に担当を開始してからすでに 20 年以上を経過した。「英米文学史」については大学設置及び教職課程設置時の着任のため、それぞれ当局の審査を受けての着任である。

1 シラバスの作成

筆者は文学部英米文学科出身であるため、当時の履修科目では「英文学概論」「米文学概論」「シェイクスピア」をはじめ、英米文学作品を原文で読む授業がいくつかあった。現在自身が着任しているのは国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科であるため、必ずしも文学系の科目が充実しているわけではない。少なくとも上記の 3 つの内容を「英米文学史」という 1 つの科目で教授しなければならない。拙著「教育実践例 教材に関する学生の反応と指導—国際文化交流—」（2017）でも次のように記した。

担当科目について最も重要なのはその科目を担当するための背景、

すなわち、研究業績や研究内容であり、その研究の内容をどのようにして教育に生かしていくかということだ。研究をどのように授業に生かしていくかが大学では特に重要な務めではないだろうか。その意味で言えば、シラバス、具体的には15回の授業計画である。⁽¹⁾

一般的に「活字離れ」という現象が言われており、以前よりも学生の読書量は減っているように思える。その反面、Youtubeをはじめとする動画やインターネットを利用する機会は異常に増えていることだ。⁽²⁾ この状況をどのようにとらえたよいかを考慮しながら、授業計画を立案した。

2 授業計画

武蔵野学院大学が設置された2004年度の授業計画と2017年度の授業計画を比較してみたい。

2004年度～2007年度

- 1 英文学史概略
- 2 シェイクスピアについて
- 3 『ロミオとジュリエット』
- 4 『ロミオとジュリエット』の映画化
- 5 『ハムレット』
- 6 『ハムレット』の映画化
- 7 『マクベス』
- 8 『マクベス』の映画化
- 9 「Appearance と Reality」
- 10 米文学史概略
- 11 アメリカン・ヒーローを巡って
- 12 映画化された米文学

- 13 『風と共に去りぬ』
- 14 『ティファニーで朝食で』
- 15 英米文学と日本

2017年度

- 1 授業計画の説明：芸術とは何か、文学とは何か
- 2 英文学史概略
- 3 英文学の背景としての英国史と英国文学史
- 4 シェイクスピア1 悲劇 ハムレット
- 5 シェイクスピア2 悲劇 ロミオとジュリエット
- 6 シェイクスピア3 喜劇 ヴェニス商人
- 7 シェイクスピアと日本：日本での受容から変容へ
- 8 ファンタジーとは何か
- 9 ネオ・ファンタジーの登場『ハリー・ポッター』シリーズ
- 10 米文学史概略
- 11 米文学の背景としての米国史と米国文学史
- 12 フランクリン、ホーソーン、ポー等
- 13 文学と科学
- 14 映画化された英米文学
- 15 まとめと学修成果の確認活動

2004年度から2007年度の授業計画は英文学分野ではシェイクスピアに特化した内容であったが、2017年度はファンタジーを含めたものとした。2017年では「文学と科学」「映画化された英米文学」として大きなテーマで英米文学をとらえるようにしたことにより、授業1回のテーマが充実した内容となった。また、学生の興味関心に対応できるような授業計画とした。

3 教材及び教科書

授業計画と教材及び教科書の関係は表裏一体の関係である。「教育実践例 教材に関する学生の反応と指導—国際文化交流—」（2017）でも次のように記した。

授業計画が決まれば、これに沿った教科書あるいは教材の選択や作成を行うことになる。教員によっては教科書や教材の選択をメインとして、これにそった授業計画を立案することとなろう。筆者の場合には前者である、授業計画が優先となり、これにあった教科書がなければ自主的に教材を作成することとなる。⁽³⁾

2004年度以降大学の授業で使用教科書は以下の通りである。

拙著『年表からみる英米文学史』（イーコン、2005年6月）

拙著『英米文学史 年表と資料』（イーコン、2006年5月）

2004年度はいわゆるプリントを配布していたが、その後は順次、上記の教科書を使用した。2008年度頃から自作の教科書とはいえ、学生の変化等にも対応していくためには固定した教科書では授業計画をうまく反映できなくなってきた。2008年度からは試行錯誤を重ねながら、2010年度あたりからようやく現在の形式に落ち着いた。最終的には以下をポイントにした。

- 1 学生の興味関心をできるだけ反映させる。推理小説、SF小説なども含め、いわゆる純文学に拘らずに取り上げる。
- 2 映像化された英米文学作品をできるだけ取り上げる。特に新しいものにも目を向ける。
- 3 実際の授業でも映像の一部を活用しながら授業ができるように工夫する。

- 4 シェイクスピアの作品のような場合には教授自らが日本語及び英語の Read Aloud により、小説と劇の違いについて実践的に表現する。
- 5 単なる著者と作品を暗記させるような授業としないよう心掛けた。

以上の5点を念頭においた。教材は自主製作し、学内でインターネットが wi-fi 環境が整ったことや学生全員に ipad を無償貸与していることから、インターネットを経由するダウンロード方式とした。これにより、学生は経済的な負担がゼロとなり、筆者自身も印刷や配布の労力が省けるようになった。また、PDF のものを用意したが、著作権などの問題も発生するため、パスコードをつけて公開した。

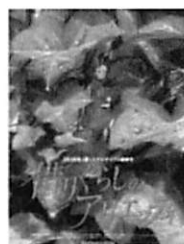
4 学生の興味関心

学生の興味関心のある英米文学作品の映画はファンタジー系統のものが多い。具体的にそのいくつかを2017年度の教材に掲載したものから紹介しておきたい。⁽⁴⁾

1952 メアリー・ノートン『床下の小人たち』

Mary Norton. *The Borrowers*.

★米林宏昌監督『借りぐらしのアリエッティ』
(2010)



1954 ウィリアム・ゴールドディング監督『蠅の王』

William Golding. *Lord of the Flies*.

★ハリー・フック監督『蠅の王』(1990)



1954 トールキン『指輪物語』(～1955)

Tolkien. *The Lord of the Rings*.

★ラルフ・バクシ監督『指輪物語』(1978)

ピーター・ジャクソン『ロード・オブ・ザ・リング』(2001)

ピーター・ジャクソン『ロード・オブ・ザ・リング／二つの塔』
(2002)

ピーター・ジャクソン『ロード・オブ・ザ・リング／王の帰還』
(2003)

1958 マイケル・ボンド『クマのパディントン』

Michael Bond. *Paddington Bear*.

★ポール・キング監督『クマのパディントン』
(2014)



1959 アラン・シリトー『長距離走者の孤独』

Allan Sillitoe. *The Lonliness of the Long-distance Runner*.

★トニ・リチャードソン監督『長距離ランナーの孤独』(1962)

1966 ダール『チョコレート工場の秘密』

Dahl. *Charlie and the Chocolate Factory*.

★メル・スチュアート監督『夢のチョコレート
工場』(1971)

ティム・バートン監督『チャーリーとチョコ
レート工場』(2005)



1967 ジョーンズ・G・ロビンソン

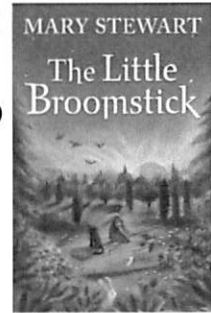
『思い出のマーニー』

Joan G. Robinson. *When Marnie
Was There*.

★米林宏昌監督『思い出のマー
ニー』(2014)



- 1971 メアリ・スチュアート『小さな魔法のほうき』
Mary Stewart. *The Little Broomstick*.
★米林宏昌監督『小さな魔法のほうき』(2017)



- 1982 ダール『オ・ヤサシ巨人 BFG』
Dahl. *The BFG*
★スーティブン・スピルバーグ監督『BFG :
ビッグ・フレンドリー・ジャイアント』(2016)

- 1988 ダール『マチルダ』
Dahl. *Matilda*.
★ダニー・デヴィート監督『マチルダ』
(1996)



- 1989 カズオ・イシグロ『日の名残り』
Kazuo Ishiguro. *The Remains of the Day*.
★ジェイムズ・アイボリー監督『日の名残り』(1993)

- 1997 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』
Joanne Kathleen Rowling. *Harry Potter and Philosopher's Stone*. (米表記 *Sorcerer's Stone*)
★クリス・コロンバス監督『ハリー・ポッターと賢者の石』(2001)

- 1997 ダイアナ・ウィン・ジョーンズ『ハウルの動く城』
Diana Wynne Jones. *Howl's Moving Castle*.



★宮崎駿監督『ハウルの動く城』（2004）

1998 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと秘密の部屋』

Rowling. *Harry Potter and the Chamber of Secrets.*

★クリス・コロンバス監督『ハリー・ポッターと秘密の部屋』
(2002)

■It is our choices that show what we truly are, far more than our abilities.

自分が本当に何者かを示すのは、持っている能力ではなく、自分がどのような
選択をするかだ。



1999 J.K.ローリング『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』

Rowling. *Harry Potter and the Prisoner of Azkaban.*

★アルフォンス・キュアロン監督『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』(2004)

2000 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』

Rowling. *Harry Potter and the Goblet of Fire.*

★マイケル・ニューウェル監督『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』(2005)

2000 ダレン・シャン『ダレン・シャン』

Darren Shan *The Saga of Darren Shan.* シリーズ（～2006）

★ポール・ワイツ監督『ダレン・シャン』
(2009)



2003 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』

Rowling. *Harry Potter and the Order of the Phenix.*

★デヴィッド・イエーツ監督『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』(2007)

2005 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと謎のプリンス』

Rowling. *Harry Potter and the Half-Blood Prince.*

★デヴィッド・イエーツ監督『ハリー・ポッターと謎のプリンス』(2009)



2007 J.K.ローリング『ハリー・ポッターと死の秘宝』

Rowling. *Harry Potter and the Deathly Hallows.*

★デヴィッド・イエーツ監督『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1』(2010)

デヴィッド・イエーツ監督『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2』(2011)

ハリー・ポッターシリーズを知らない学生もいないため、ファンタジーを扱うにはよい作品である。『ロード・オブ・ザ・リング』、『ナルニア国物語』、『不思議の国のアリス』は当然、ケルト文化、妖精、魔法といったイギリス文学の伝統ともいえるものが満載である。アメリカ文学でも『オズの魔法使い』、『エラゴン』、『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』などもある。

また、2014年はシェイクスピア生誕450年、2016年はシェイクスピア没後400年に当たる年だけに、これを記念して、2014年から2016年の教材や授業では積極的にシェイクスピアを取り上げた。

学生の興味関心としてディズニーへの注目度は高い。特にディズニーランドと英米文学の関係はあまりにも深い。アリス、くまのプーさん、

ピーターパンは、もともとは英文学の作品である。また、マーク・トウェインはアメリカの文学者でもある。その他、キャラクター化されているピーター・ラビットも英文学作品に登場するキャラクターである。

エピローグ

最近の英語教育では実用英語、英会話に代表される英語コミュニケーション重視の方向性にある。文学のような教養的なものは敬遠される傾向にある。しかし、言語教育において文学と無縁などということはありません。辞典ひとつにしても、例文は概ね文学作品から引用されている。日本の国語の教科書に文学作品は載っていないのだろうか？では、英語教材研究として文学教材はどんな利点があるのだろうか。中村愛人(2004)によれば、利点として下記の5項目をあげている。

- 1) 様々なstyleのauthenticな言語材料を提供出来る。
- 2) 言語能力(literary competence)を発達させる。
- 3) 個人の成長や人間性を豊かにする。
- 4) 文化学習に効果的である。
- 5) 作品への興味から学習の動機づけになる。⁽⁵⁾

「英米文学史」が教職課程の「教科に関する科目」であるため、教職課程の科目ということを考えれば、単に英語ということに関わらず、上記3)は教員の根源にもつながるものである。

教育基本法の(教育の目的)第一条は次の通りである。

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

ここに文学が貢献する意味があるのではないだろうか。(6)

注

- (1) 佐々木隆「教育実践例 教材に関する学生の反応と指導—国際文化交流—」(『武蔵野教育研究』第3巻第10号、武蔵野教育研究会、2017年7月)、p.1.
- (2) 佐々木隆「デジタル社会とモラル」(『日欧比較文化研究』第18号、平成26年10月)で、デジタル機器の利用状況の拡大について論じた。
- (3) 佐々木隆「教育実践例 教材に関する学生の反応と指導—国際文化交流—」、p.5.
- (4) 佐々木隆作成『2017 英米文学史』の教科書より。
- (5) 中村愛人「英語教育における文化教材としての文学作品の意義」(『広島大学大学院教育学研究科紀要』第2部第52号、2004年3月)、p.115.
- (6) 佐々木隆『今後の教職課程と英語教育』(イーコン、2007年5月)での指摘内容をさらに深めて、佐々木隆「教材としての英米文学の行方」(日本英語文化学会、シンポジウム「大学における一般教養科目としての『英語』を考える」、2010年9月4日)において発表した。大きな賛同を得た。

【キーワード】 英米文学史、シェイクスピア、ファンタジー、映画

執筆者一覧

佐々木 隆 武蔵野学院大学教授

武蔵野教育研究 第3巻第10号

2017年8月1日 発行

武蔵野教育研究会 編集・発行

〒350-1328

埼玉県狭山市広瀬台3丁目2番1号

武蔵野教育研究会事務局

武蔵野学院大学 佐々木隆研究室